

(仮称) 世田谷区立二子玉川公園基本設計 説明書



平成23年8月

世田谷区

1 公園の概要

- ・ 名称：(仮称)世田谷区立二子玉川公園（以下、(仮称)二子玉川公園という。）
 - ・ 所在地：世田谷区上野毛二丁目 28 番から玉川一丁目 16 番
 - ・ 公園種別：※地区公園
 - ・ 公園面積：都市計画決定面積 約 6.3 ヘクタール
整備面積約 6.6 ヘクタール（内 約 0.3 ヘクタールは多摩川緑地）
 - ・ 都市計画決定：昭和 32 年
- ※ 地区公園とは、主として徒歩圏域に居住する人の利用に供する公園のことで、区立世田谷公園や区立羽根木公園などと同規模の公園となります。

<位置図>



2 公園基本設計の方針

本基本設計は、「(仮称)世田谷区立二子玉川公園基本計画」(平成 22 年 6 月)(以下、公園基本計画という。)をもとに、住民参加などによる検討を踏まえ、公園基本計画に示す『安全・安心』『地域の活性化』『みどりとみずの拠点』『憩いと健康』『子どもと遊び』などの基本的なテーマを具体的に設計するものです。

(1) 設計方針

公園計画地周辺には恵まれた自然環境及び文化的な特徴があります。本公園は、国分寺崖線のみどりと多摩川の水辺という、みどりとみず、都市と自然の結節点に位置しており、これら地域の資産に溶け込むよう、各種の施設設計(意匠、素材選びなど)を行うことで、この土地ならではの魅力的な公園整備の実現を目指します。

また、河川(丸子川、多摩川)に挟まれるとともに広域避難場所である多摩川河川敷と接する場所性を踏まえ、豪雨対策、震災時の防災施設を充実させます。

(2) デザインコンセプト

- ◆色 彩：緑（樹木）、茶（土）、水色・白（水、空）
- ◆植 栽：武蔵野、里山、多摩川河川敷
- ◆花 　：四季、多彩
- ◆素 材：自然素材、柔軟、統一感
- ◆防 災：避難、活動拠点、応急対応
- ◆各種施設：経済性、管理性、ユニバーサルデザイン



3 検討の過程

(1) 検討の枠組み

基本設計段階の公園整備内容の検討は、自由参加によるワークショップ、地元活動団体などとの話し合い、専門家を交えた検討、アンケート・オープンハウスなどで収集した区民の意見・要望を反映する方法で行いました。また、区民への情報提供は、公園づくりニュースや区のホームページ、現地掲示板などで行いました。

《ワークショップ》

開 催：4回（平成22年7月～12月）
テ ー マ：植栽、遊び場、健康づくりなど
参加人数：延べ113人（事前申し込み制）



《オープンハウス》

開 催：平成23年2月4日、5日
来場者数：52人



《公園づくりニュース、アンケートの配布先》

戸別配布：近隣約7,100世帯（アンケート用紙は区のホームページにも掲載）
窓口配布：玉川総合支所・近隣の出張所・まちづくりセンター・児童館・図書館
※アンケート回収は220件

《小中学校での公園基本計画模型展示、アンケート》

実施場所：玉川小学校、二子玉川小学校、瀬田中学校、玉川中学校
※アンケート回収は572件



《地元団体との話し合い》

- ◇地域のイベント開催者などと公園でのイベント利用に関する打ち合わせを実施
- ◇震災時の公園利用について町会、消防署、消防団、日赤などと打ち合わせを実施

《専門家などを交えた検討》

◇専門性の高い日本庭園について学識経験者、専門家などを交え検討



(2) 検討の体系

(仮称) 二子玉川公園基本構想 (平成21年12月)

(仮称) 二子玉川公園基本計画 (平成22年6月)

公園基本設計に向けた意見要望 (「公園基本計画 6 整備イメージ」の具体化)

【安全・安心の公園づくり】

<震災対策>⇒地元活動団体(町会、消防団、日赤ほか)との話し合いなど

<豪雨対策>⇒コンサルタントによる検討など

【人々が集い・ふれあえる交流の空間づくり】

<イベントの場>⇒地域イベント開催者との話し合いなど

<地域住民活動の場>⇒公園予定地での花植え活動など

【みどりとみずをつなぐネットワークづくり】

<地域性に配慮した植栽>⇒ワークショップでの検討など

【憩いと健康の空間づくり】

<健康づくり>⇒ワークショップでの検討など

<日本庭園>⇒学識経験者、専門家による検討など

【子どもがのびのびと遊べる空間づくり】

<遊び場>⇒ワークショップでの検討など

ニュースによる検討結果の
情報提供

アンケート、オープンハウスに
よる意見と要望の集約

(仮称) 二子玉川公園基本設計の策定

以下予定

実施設計・工事

ワークショップの開催
(管理やルールづくりの検討)

完 成

区民参加型の維持管理